

2016年春期特別号 ゼミナール通信 “鳥瞰するが如く Bird’s - eye view”

「勉強ができるようになる、頭がよくなる、
そして心が豊かになる」という方法

読書・読字

頭脳の研究である脳科学の世界では、「脳と読書・読字には相関性がある」というのは常識だと言われています。日本語の場合、平仮名があって片仮名があって漢字があります。それで音と文字と意味がそれぞれ微妙にずれています。脳はこうしたずれがあればあるほどその複雑さに順応するために、高次の発達を遂げるのだそうです。ですから読書・読字の習慣を早めに身に着ければ、頭脳が発達する、頭がよくなるというわけです。もちろん読書・読字の習慣の効果はそれだけではありません。

「読書は、人生の全てが、決して単純でないことを教えてくれました。私たちは、複雑さに耐えて生きていかなければならないこと。人と人との関係においても。国と国の関係においても。」

これは、美智子皇后のことばです。様々な書物を読むことで、未知の世界や文化、考えを異にする人々を理解することができます。これが、バランスの取れた思考を育て私たちの心を豊かにする、ということではないでしょうか。

本を読もう、視野を広げよう

「ぼくらの民主主義なんだぜ」 高橋源一郎著（朝日新書）

このコーナーではこれまでに小説を中心に紹介してきましたが、たまには新書もいいのではないかと思います、右記の本にしました。「ちょっと難しいんじゃない？」とか「今どき民主主義？」なんて思われるかもしれませんが、子供たちにとっては教科書では当たり前に出てくる言葉ですし、大人として改めて現実の社会問題を通して民主主義を考えてみるのもいいのかなと思います。



著者は作家でもあり大学の教授でもあり、またNHKラジオの朝の番組「すっぴん」の金曜日のパーソナリティーも務めていますから、お茶の間でもよく知られているのではないのでしょうか。まず目次を開き、あなたにとって面白そうなタイトルから読んでみてください。私にとっては、どれもが興味深いのですが、あえてお勧めするとしたら、「あるひとりの女性のことば」でしょうか。

自分の感受性くらい

茨木のりこ

ばさばさに乾いてゆく心を
ひとのせいにはするな
みずから水やりを怠っておいて

気難しくなってきたのを
友人のせいにはするな
しなやかさを失ったのはどちらなのか

苛立つのを
近親のせいにはするな
なにもかも下手だったのはわたくし

初心消えかかるを
暮らしのせいにはするな
そもそもがひよわな志にすぎなかった

駄目なことの一切を
時代のせいにはするな
わずかに光る尊厳の放棄

自分の感受性くらい
自分で守れ
ばかものよ

茨木のりこさんという詩人を知ってからそんなに時はたっていない。けっこう有名な詩人のようだから私の不勉強ということになる。私の父と同じ大正15年生まれとなると、心情的に近しく感じる。父は叱咤したり言葉で論ず人ではなかった。その分却って厳しい感じが伝わってきて怖い存在だった。この詩はなんだか父の無言の背中に似ている。この直球の力強さがなんとも心地よい。

ゼミブログ便り

受験シーズン到来！

1月は大学入試センター試験・私立高校入試がありました。受験シーズン到来（いや、真っ只中）です。国立高専が21日、公立高校入試が3月8・9日に行われます。いざ本番となった当日に起こるハプニングだけは避けたいものです。試験当日におこるハプニングはどういうものがあるでしょう。上位3つを紹介しましょう。

- 第1位 体調不良 第2位 交通機関トラブル 第3位 忘れ物**
- 第1位の体調不良で多いのは「風邪」です。低温・低湿を好むウイルスが多く、体に入りやすいのが主な要因です。また、別な要因としては、ストレスによる免疫力の低下が挙げられます。受験生に多いネガティブなストレスは、20～30%免疫を落とすそうです。そもそも人間の体内には、ウイルスと戦う細胞が存在しているのですが、ストレスに弱い性質を持っているため、受験生は特に風邪にかかりやすいみたいです。「病は気から」ってことですね。
- さて、そのウイルスと戦う細胞を活性化させるには・・・
- ・ヨーグルトを1日一個食べる。
 - ・軽い運動をする(激しい運動はだめ)。
 - ・「絶対合格する！」という強い信念をもって、1日1日を充実させる。残りわずか。頭と心と体の準備を整えましょう。

私立特訓

寒さが身にしみるこの頃。
1月末の大雪すごかったですね！
ご近所の子供たちの楽しそうな声が聞こえていました。窓に目をやるたび、音もなく降る雪はやっばりいいな、と思いました。

寒くなければなおよいのですが、(*^_^*)
大雪が降る前日の土曜日と、前の週の土曜日の2日で10時間、中学3年生は私立入試対策を行いました。受験校の過去問を解き、出題傾向をつかみます。それぞれの受験校の問題を前にすると、いつもより前のめりになっていたような気がします。さて、その結果は？



合格速報！

国立鹿児島高専 2名	鹿児島第一高校 7名
鹿児島高校英数科 5名(特進1)	龍桜高校看護科 4名
鹿児島第一中学 1名	その他全員合格

鏡開き―無病息災を願って―

毎年恒例の鏡開きを行いました。各校舎にて、八木塾長特製の絶品ぜんざいがふるまわれました。授業で煮詰まったところにぜんざい登場！

「去年も食べた！」
「（初めての人）何これ？」
など、生徒たちも興味津々。
全員に行きわたったところで、私も頂きました。あんこの甘さが程よくて、しみる。
みんなで食べるとさらにおいしいですね。
今年も無病息災で過ごせますように。



菜の花マラソン 2016

1月10日（日） （ついにこの日が来てしまった・・・） 大きな不安とほんの少しのわくわくと。1月の第二日曜日と言えばいぶすき菜の花マラソン！例年参加している男性陣の先生方にまざり、わたくし福元も参加してきました。フルマラソン初めての私がブログを書かせてもらいます。

午前3時に車で出発し、5時ごろ会場に到着。
このスーパー早起きを経て、マラソンをするなんて。わたし、本当に大丈夫だろうか。



総勢17526人が道路を埋め尽くすし、午前9時スタート！ついにフルマラソンが始まりました。こうなったら走るのみ。先生方から聞いてはいたのですが、沿道の声援の温かいこと。ハイタッチをしたり、アメをもらったりしながら走りました。私が最初に足を止めたのが7キロすぎ。人の流れについて行こうとしていたため、バテ気味に。（え、私の菜の花もう終わるの！？）と一瞬思ってしまったのですが、何とか息を整えて再スタート。自分のペースをつかんでからは、少し楽しく感じられました。所どころで振る舞われる食べ物がまたおいしくて！地元の方々のおもてなしが本当に力になりました。最後の5キロは記憶が曖昧ですが・・・。なんとか自分の足で帰ってこれることができました。

こんな達成感、いつ以来かな、と。参加しなければ感じられなかったことがたくさんありました。参加者全員にきっとドラマがあるはず。